

電通総研、AI 機能を搭載したグループ経営ソリューション「Ci* X」^{サイ クロス}の最新版を提供開始

－ 生成 AI 連携によるチャットサポートや自動処理ノードを搭載し、業務の自動化と効率化を推進 －

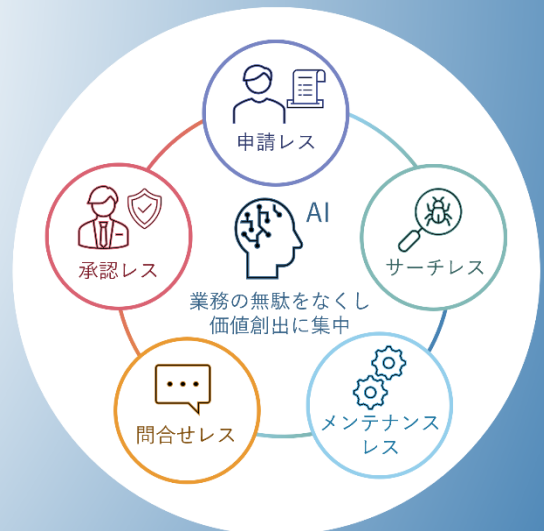
テクノロジーで企業と社会の進化を実現する株式会社電通総研(本社:東京都港区、代表取締役社長:岩本 浩久、以下「電通総研」)は、グループ経営ソリューション「Ci*X(サイクロス)」シリーズの経費精算システム「Ci*X Expense(エクスペンス)」および汎用ワークフローシステム「Ci*X Workflow(ワークフロー)」の最新版を 2026 年 10 月 27 日(火)より提供開始します。



生成AIで進める業務改革

「5つのレス」で実現する 次世代エンタープライズ基盤

Ci*X Expense | Ci*X Workflow



最新版では、「Ci*X AI プラットフォーム構想」^{※1}に基づく生成 AI チャット機能を搭載したほか、ワークフロー内に定常業務の自動化を組み込む「自動処理ノード」を新たに開発しました。これにより、生成 AI による入力・確認サポートおよび帳票作成やメール送信といった前後の定常業務の自動化を実現し、現場主導の業務改革を後押しします。

■ 主な機能強化

1. 生成 AI チャット機能の搭載 (Ci*X Expense / Ci*X Workflow)

「Ci*X」に最適化された独自の AI エージェントと連携し、申請時の入力チェックや規程に関する利用者からの問合せに AI が対応します。申請者の入力における迷いを軽減すると同時に、承認者の確認負担を大幅に削減します。

2. ワークフロー内の定常業務を自動化する「自動処理ノード」の追加 (Ci*X Workflow)

ワークフローのルート定義に、従来の「申請」「承認」ノードに加え、自動処理を行う「自動処理ノード」を新設しました。例えば、表計算ソフトウェアで作成したテンプレートと申請項目を画面上でマッピングするだけで、申請データを

もとにした PDF 帳票を自動生成するほか、設定したテンプレートに基づき申請項目の情報を動的に埋め込んで関係先へ自動送信するなど、申請・承認後の定常業務を自動化します。

3. AI-OCR の読取値と入力内容の差異表示改善(Ci*X Expense)

領収書/請求書の AI-OCR 読取値と申請入力内容に差異がある場合、該当項目をハイライト表示し、チェック精度と確認スピードを向上させました。

4. 正規表現チェック(Ci*X Workflow)

申請者の入力内容を確認する条件式に正規表現を利用できるようになりました。これにより、企業ごとの複雑な入力ルールにも柔軟に対応可能となります。

■ PoC の取り組み

電通総研では、複数の大手企業と実務での AI 活用を想定した PoC を推進しています。申請不備の自動検知や AI による入力サポートを実際の業務フローに適用した結果、申請者の入力エラー率削減や承認者の確認時間の短縮といった、業務効率化につながる効果を確認できました。

今後はこの PoC の結果を基に、2027 年春の「生成 AI による自動承認」機能の搭載に向けた開発を加速させ、人間が判断業務に専念できる「申請レス・承認レス」の次世代ワークフロー基盤の実現を目指します。

■ 「Ci*X AI プラットフォーム構想」の実現に向けた開発ロードマップ - 対話型 AI から、業務を動かす自律型「AI エージェント」へ -

電通総研は、「Ci*X」シリーズを“業務を自律的に支援するプラットフォーム”へ進化させるため、段階的な AI 開発のロードマップに基づき機能拡張を推進してまいります。

- **2026 年秋(本リリース):** 「Ci*X Expense / Ci*X Workflow」に生成 AI チャットサポートを搭載するとともに帳票・メール等の「自動処理ノード」を実装し、申請・承認前後の定常手作業を自動化。
- **2027 年春:** AI が規程や過去事例を学習し、申請不備の自動検知から一次自動承認までを自律実行する次世代 AI エージェント機能を実装予定。
- **2027 年以降:** グループ統合会計システム「Ci*X Financials(フィナンシャルズ)」や資金管理システム「Ci*X Treasury(トレジャリー)」へ展開し現場入力から決算・資金運用まで企業全体の業務フローを AI が一気通貫で流す高度なプロセスオートメーションを実現します。

電通総研は今後も「Ci*X」シリーズをはじめとするエンタープライズソリューションの機能拡充と最新テクノロジーの活用を通じて、企業の業務効率化と生産性向上を支援してまいります。

※1 <https://gms.dentsusoken.com/cix/ai/>

<ご参考資料>

・ [「Ci*X」について](#)

「Ci*X」は、グループ経営に求められる高度な業務要件に対応する各種機能と、社員の働きやすさや生産性向上を実現する優れたユーザーインターフェースを備えたエンタープライズソリューションです。現在、グループ経費精算システム「Ci*X Expense」、汎用ワークフロー「Ci*X Workflow」、自動仕訳システム「Ci*X Journalizer」、グループ

統合会計システム「Ci*X Financials」、グループ資金管理システム「Ci*X Treasury」の 5 製品を提供しています。

2026 年 04 月 16 日

[電通総研、グループ経営ソリューション「Ci*X\(サイクロス\)」シリーズ 4 製品の最新バージョンを提供開始](#)

2025 年 10 月 23 日

[電通総研、グループ経費精算システム「Ci*X Expense」および、汎用ワークフローシステム「Ci*X Workflow」の最新版を提供開始](#)

2025 年 04 月 17 日

[電通総研、経費精算システム「Ci*X Expense」をはじめとした「Ci*X」シリーズ 3 製品の最新版を提供開始](#)

■電通総研について <https://www.dentsusoken.com>

電通総研は、「HUMANOLGY for the future～人とテクノロジーで、その先をつくる。～」という企業ビジョンの下、「システムインテグレーション」「コンサルティング」「シンクタンク」という 3 つの機能の連携により、企業・官庁・自治体や生活者を含めた「社会」全体と真摯に向き合い、課題の提言からテクノロジーによる解決までの循環を生み出し、より良い社会への進化を支援・実装することを目指しています。

テクノロジーや業界、企業、地域の枠を超えた「X Innovation(クロスイノベーション)」を推進し、これからも人とテクノロジーの力で未来を切り拓き、新しい価値を創出し続けます。

* 本リリースに記載された会社名・商品名は、それぞれ各社の商標または登録商標です。

【製品・サービスに関するお問い合わせ先】

株式会社電通総研 営業第二本部 マーケティング 3 部 鈴木、木下

TEL:03-6713-7101 E-Mail: g-cix@group.dentsusoken.com

【プレスリリースに関するお問い合わせ先】

株式会社電通総研 コーポレートコミュニケーション部 野瀬

E-Mail: g-pr@group.dentsusoken.com